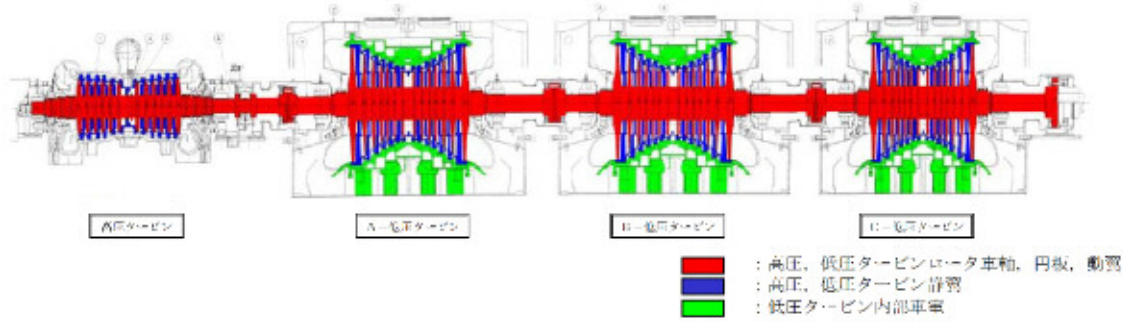
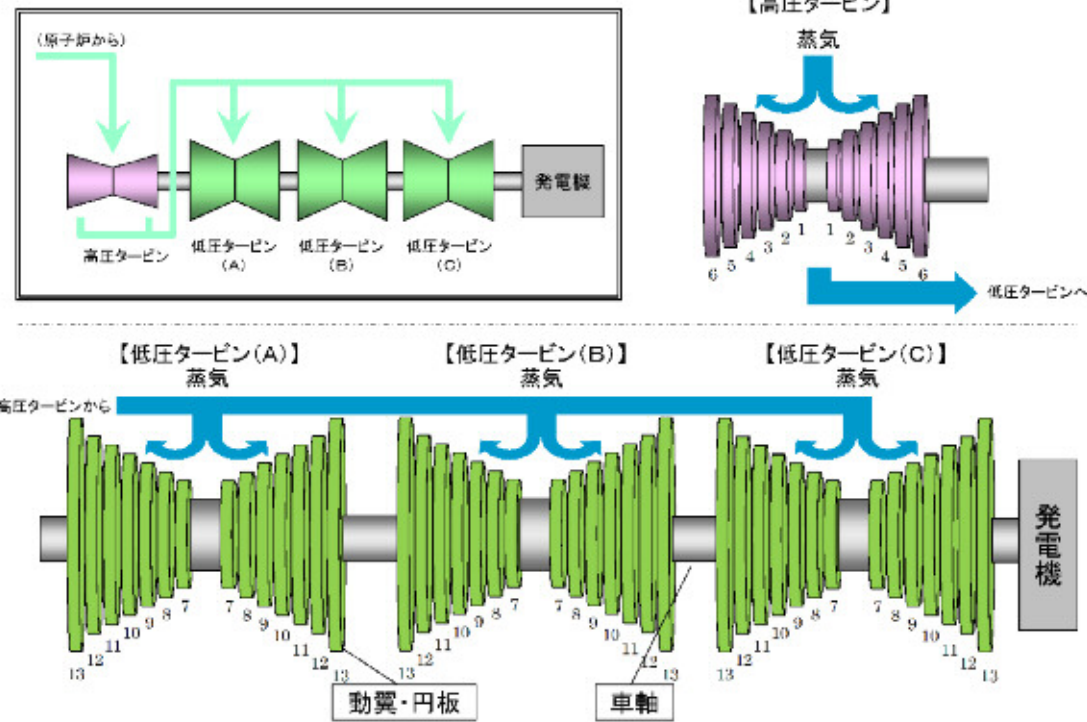


低圧タービンの蒸気の流れについて

【蒸気タービンの全体概要 (例：2号機)】



上記の赤色箇所概要図



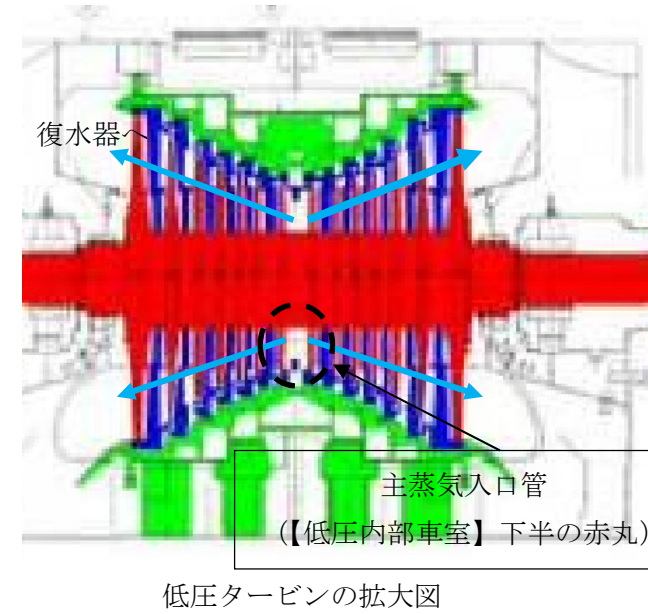
(出典) 島根原子力発電所2号機 蒸気タービンの取り替えについて (H28.5.16)
(当社ホームページから抜粋)

(用語解説)

- ・静翼：蒸気の流れが効率よく動翼へ流れるよう導くために、動翼を納めている車室に固定された翼（車軸部分がくり抜かれた円形）であり、回転しない固定された翼のため「静翼」と呼んでいる。
- ・車室：車軸、動翼、静翼を収納する車室（中央部がくびれた筒状）。その内面には静翼が取り付けられるようになっている。
- ・車軸：蒸気の高速度噴流を静翼から動翼に吹き付けることで回転する軸。動翼を除いたものも車軸ということがある。
- ・動翼：原子炉で作られた蒸気により回転する車軸に取付けられた翼（羽根）であり、これにより回転力を得る。車軸と共に回転することから、「動翼」と呼んでいる。
- ・円板：車軸と一体で製造された動翼が取付く円形の板

【主蒸気の進入】

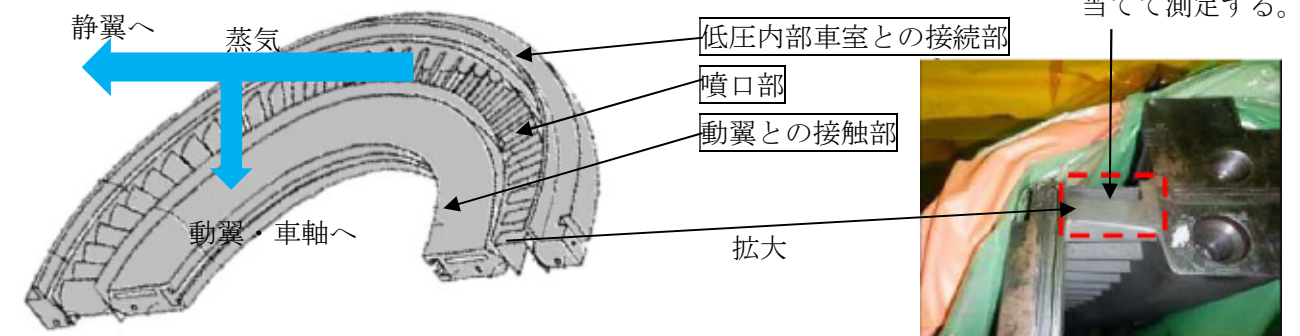
- ・上流側からの蒸気は低圧内部車室に流入する（下半部中央（第7段付近）の主蒸気入口管から流入）。
- ・中央から2つに分かれ低圧ダイヤフラムの各段に進む。
- ・最終段を通過した後の蒸気は下方にある復水器へ進む。



【放射性物質の付着】

- ・低圧ダイヤフラム第7段を中心に車軸と動翼の回転により第8段目以降の低圧ダイヤフラムに拡散していく。

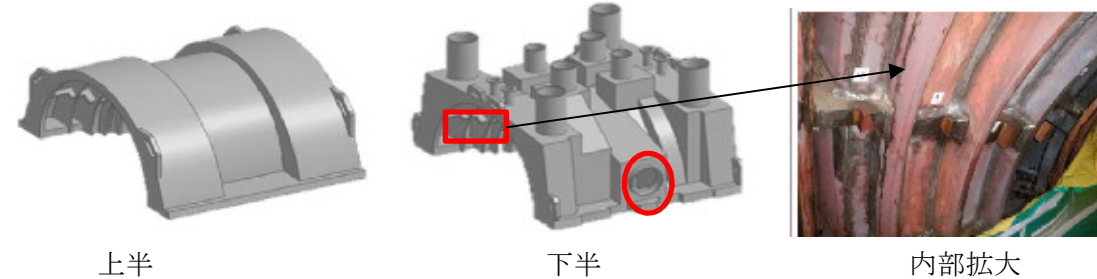
【静翼 (低圧ダイヤフラム)】



GM サーベイメータを垂直に当てて測定する。

- ・蒸気が噴出口を通過し、次の低圧ダイヤフラムへ進む。その過程で蒸気の一部が動翼及び車軸へ進む。動翼が回転力を得て車軸と共に回転する。赤点線枠が GM サーベイメータによる測定箇所とサンプリング位置（第7段噴出口部）

【低圧内部車室】



GM サーベイメータの検出面と仕切り板の面が水平に向き合うように測定する。

- ・下半の赤丸が主蒸気入口管を示す。
- ・主蒸気入口管から進入した蒸気が仕切り板に接触する。GM サーベイメータで仕切り板を測定する。

以上